



2012(平成24)年10月10日発行

ととととの四季

発行所／東京都豊島区東池袋1-20-10 豊島区民センター2階

☎170-0013 ☎03-3981-5849 ☎03-3981-5878

一般社団法人へ 準備進む

6月4日(月)に開催された「平成24年度定期総会」で当協会の経営基盤の強化と組織の透明性を高めることを目的に、「法人化に向けた準備委員会を設けて協議をすすめ、任意団体から法人化への取り組みを推進する」ことを承認されたのを受けて、委員を選出し、6月20日(水)、第1回「一般社団法人化推進準備委員会」を開催した。

〈委員〉 齊木勝好会長 委員長／平井照副会長、委員／高瀬西帆、平井憲太郎（以上副会長）、若林正美、高村光朗（以上理事）、細田新子（会員）、安藤昇（事務局）、石塚美穂司法書士（当協会会員）＝以上9名

第1回準備委員会では、あらかじめ石塚司法書士に当協会の現行の定款をもとに、他地域の観光協会定款などを参考に試案作成していただき、それを叩き台に



9月21日第4回準備委員会から

一般社団法人への移行の参考資料などをもとに各条項、条文の検討に入った。

引き続き

- ・第2回委員会 平成24年7月9日(月)
- ・第3回委員会 " 8月28日(火)
- ・第4回委員会 " 9月21日(金)

を開催。平成24年度中の一般社団法人化を目途に進捗中で、第5回委員会は11月16日(金)に開催の予定となっている。

豊島区セーフコミュニティ 11月28日(水) 認証式典

安全・安心創造都市をめざして平成22(2010)年2月からセーフコミュニティ国際認証取得と取り組んできた豊島区が、区制施行80周年にあたる本年、日本では5番目、東京初の認証を取得。来る11月28日(水)、東京芸術劇場で「豊島区セーフコミュニティ認証式典」をとり行う。

また、11月28日(水)から30日(金)の間、「第6回アジア地域セーフコミュニティ会議」の開催、認証記念コン

サート（特別ゲスト／森山良子）が彩りを添える。

高野豊島区長は「日本一の高密度都市である豊島区にとって、「安全・安心」は都市づくりの基盤で、その推進のため区民の皆様とともにセーフコミュニティ認証取得を目指してまいりました。このほど正式に取得することになり、認証式典は区制施行80周年記念事業の柱として取り組み、新たなスタートを区民の皆様とともに祝いたい」とメッセージしている。

セーフコミュニティは、WHO（世界保健機関）協働センターが推進する安全・安心のまちづくりに関する国際的な認証制度で、現在、世界で約280の都市が認証を取得している。

東京フラフェスタ in 池袋10周年・豊島区制施行80周年記念

東京フラフェスタ in 池袋2012

観客 34万人!

真夏の一大ページェント「東京フラフェスタin池袋」。

前日までの猛暑はどこへやら、今にも泣きだしそうな空模様の下、7月20日(金)を前夜祭に、21日(土)・22日(日)の両日、5会場をステージに134チーム、約3,400人が出場して、常夏の国の踊りを精一杯に披露、34万人の観客を楽しませた。



10周年を迎えての今年の「東京フラフェスタin池袋」。豊島区制施行80周年の記念行事ともなっ て例年以上に華やぎ、加えて「池袋のフラ」のイメー ジが各地に広がりをもせて、予想を超えた観客動 員数となった。

今回は

- 1. 10周年を記念して、プレイベント「フラウィーク」を開催。
- 2. 池袋駅西口駅前広場会場でのステージを2日間の開催に。(昨年は一日だけ)



東武百貨店8F屋上会場



子どもたちのフラ & 見守る大人たち (アムラックス会場)

- 3. 電車の中吊り広告掲示など地域外へのPR強化。一などを実施、あるいは重点を置いた。
- なかでも「フラウィーク」は新しい試みで、アムラックスB1Fのイベントステージを会場に、7月15日(日)、16日(月)の両日、当イベントの事前PRを中心に、一人でも多くの人にフラの魅力を知っていただこうと開催。

また、今年の5月、ホノルルのNPO法人ワイキキ・インクルーブメント・アソシエーション(WIA)と当協会が友好交流協定を締結(「としまの四季」No.56に既報)したのにもとない、WIA会長リック・イゲット氏が来日。同時にカレオ・トリニグッド氏を講師に招いてワークショップを開催。“本場の専門家が教えてくれる”と好評だった。



各会場のチーム出演状況は

- *メイン会場 21日/31チーム 22日/24チーム
- *池袋西口駅前会場 21日/21チーム 22日/22チーム
- *東武百貨店8F屋上会場 21日/14チーム 22日/12チーム
- *サンシャイン会場 21日/46チーム 22日/42チーム
- *アムラックス会場 21日/28チーム 22日/26チーム

なお、池袋西口公園の模擬店には、22店舗が出店した。

ぐるっと豊島 英語版 当協会の情報冊子『ぐるっと豊島』の英語版を作成中です。外国人旅行者が見易いように、持ち易いように一を心がけた冊子にしました。外国語版の観光案内書が求められています。10月中には出来上がる予定です。

東京観光情報センターで 「豊島の観光」をPR

東京都庁第一本庁舎1階の東京観光情報センターで8月1日から31日の一か月間、当観光協会と豊島区が豊島区観光PRブースを開設して、豊島の観光をPRした。

このPR事業は平成16(2004)年に第1回を開催。この時期、外国人を含む多くの観光客が都庁展望台を訪れることから、大きなPR効果が期待され、平成18(2006)年以降、毎年開催してきている。展望台をエスカレーターで降りるとすぐそこにPRブースがあり、とくに案内資料を探す外国人の多くがこのブースに立ち寄る。来年度から開催の際は、もっときめこまかな英文によるパンフレットやチラシを用意し、外国人向



都庁第一本庁舎1階での「豊島の観光PR」

けPRを積極的に試みたい。

また、去年は節電のためビデオ上映は中止したが、本年は可能となり、フラフェスタやふくろ祭りのDVDを放映。多くの人達の関心を集めていた。来年度は情報内容、方法などを再編集して独自の魅力あるDVDを作成して、立ち寄る人に効果的に訴えかける内容にしたい。

交流視察事業

湯沢町を視察

当観光協会が観光振興事業の一環としている交流視察事業。去る6月8日(金)、9日(土)の両日新潟県湯沢町を訪問。湯沢町観光協会及び同協会会員との相互交流を図り、同協会の観光事業への取り組みを目の当たりに見聞した。

湯沢町は、観光物産交流都市として豊島区との交流に積極的な町で、近年、物産展などを通じて交流が深まってきており、今後の更なる関係構築を目指して、理解を深めた。

- ・参加者 30名
- ・行程 6月8日(金)10時10分大宮駅発—上越新幹線にて11時16分越後湯沢駅着。

駅ホームにて湯沢町長、同駅長らの出迎えを受け、懇親後、湯沢町民俗資料館「雪国館」ほかを



湯沢町との交流視察一行

視察。18時から宿泊ホテルにて湯沢関係者と交流会。翌9日(土)各所を散策。NHK大河ドラマ「天地人」で評判になった上杉景勝、直江兼続ゆかりの禅寺雲洞庵なども見学。16時04分、上越新幹線で帰路へ。

当視察に際し、湯沢町産業観光課、同観光協会の方々の案内をうけ、視察行程中に多くの意見交換をすることができ、有意義な交流視察となった。

今後、両者の観光・商工をはじめ各方面での交流が期待される。



豊島区が誕生して80年

10月1日(月)、豊島区は区制施行80周年を迎え、東京芸術劇場を会場に記念式典を開催。1日、2日の両日にわたって記念コンサート、祝賀会、セーフコミュニティ・サミットを開催して80

周年を祝した。

「豊島区」が誕生したのは昭和7(1932)年10月1日。東京市郡が合併して新たに市区が設けられ、このとき旧巢鴨町、西巢鴨町、高田町、長崎町の4町が合併して発足したのが「豊島区」。この地域の人口は、

大正9年に約11万人だったが、昭和5年には約24万人へ大幅増となっている。

「豊島区」という区名決定のときは、試案として池袋区、巢鴨区などが出されたが、もと「北豊島郡」だったことから、その名を残したいと「豊島区」が正式名称となった。

東京都が現在の23区になったのは、昭和22(1947)年に22区に編成替えされ、同年8月、板橋から練馬が分離して今日の23区となった。(写真は「豊島区50年のあゆみ」(豊島区)から)



会員増強運動推進中!

—ご加入下さる方を、ぜひご紹介下さい—

東京大塚阿波おどり

9月1日(土) 17:00~

大塚の夏の一夜を彩る

恒例の阿波踊り。第40回の節目にあたる本年は「南大塚ホール」のオープニングの行事とも重なり、開催日を従来の8月下旬から9月1日(土)に変更して華やかに開催した。特に、昨年は電力事情などで初の昼間開催となり、提灯などの灯火を控えめにしての自粛モードの中での開催だっただけに、ことのほか今年の大塚阿波踊りは元気で華やかだった。

※

池袋演劇祭

9月1日(土)~30日(日)

豊島の秋のメインイベント「池袋演劇祭」は、本年は第24回。区内・近隣19の会場で55団体が「舞台が回る、今ときめきの街」をキャッチフレーズに56演目を上演。

全公演終了後、選定会を開いて「演劇祭賞」を選定し、大賞をはじめ豊島区観光協会賞を含む数々の賞が決定。10月29日(月)午後7時から、あうるすぽっと2階ホール「ホワイエ」で表彰式と祝賀会が開催される。

※

ふくろ祭り & 東京よさこい

第1部 9月

22日(土)・23

日(日) 第2部 10月6日(土)・7日(日) 池袋の秋の祭典、「ふくろ祭り」と「東京よさこい」は、今年は「ふくろ祭

り」が第45回、「東京よさこい」は第13回。第1部では御輿の祭典に国際的な関心が。第2部は「踊りの祭典」と「東京よさこい」。「東京よさこい」コンテストには各地から101チームが出場の予定で、大賞をはじめ豊島区観光協会賞など数々の賞を競う。

※

「秩父祭屋台」50周年

10月7日(日)・8

日(月)

秩父夜祭で曳行される「秩父祭屋台」は、昭和37年(1962)5月23日に、国の重要有形民俗文化財に指定され、今年が国指定50周年という節目の年に当たる。

秩父市ではこの記念すべき年を、市を挙げて祝賀すべく「笠鉦特別曳行」をはじめとする数々の記念行事を開催。

※

雑司が谷鬼子母神お会式

10月16日(火)~

18日(木)

最大の呼びものは18日の万灯の練り歩き。午後7時池袋駅東口、西武池袋本店前に集合した万灯が、明治通り→目白通り→鬼子母神通りのコースを練り歩く。花火の合図でいっせいにスタート。軽快な太鼓のリズムに乗って、万灯の花飾りが揺れ、その独特の雰囲気観る人が浸る。鬼子母神道には露店が軒をつらね、江戸の世の名残りが…。